令和７年度版

豊田中学校区　静岡型小中一貫教育構想図

静岡市が目指す子どもたちの姿

たくましく　しなやかな　子どもたち

豊田中学校区が目指す子どもたちの姿

活力ある生活を「ひとり立ち（自立）」と「支え合い（共生）」の両面から考えることができる子どもたち

視点１

豊田中学校区　小中一貫学校教育目標

活力ある子　～　ひとり立ち　支え合い　～

			ひとり立ち	支え合い
重点目標	豊田中学校	感動を共に創り出す	時と場に応じて、自ら考え生活する	お互いの個性を生かしながら、よりよい生活集団をつくる
			自分の考えや思いを、様々な方法で表現しながら学習する	お互いの考えや思いをつなぎながら学習する
			引き受けた役割をよりよく果たすために、自分の思いをもって活動する	お互いの頑張りを認め、思いをくみとり活動する
	西豊田小学校	気づき考えやってみよう	☆　進んで伝え合う子（研修） ☆　ＡＳＡができる西豊っ子（生徒指導） ☆　みんなのために　進んで考え行動する子（特活）	
	富士見小学校	自分にチャレンジ	富士見小の教育課程や児童会活動との連携	

発達段階（学年）に応じて目指す子どもの姿

中３　発信（自分から発信する、多様性の理解と社会への参画意識）

自分の考えや意見を相手に伝えると共に、個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、謙虚に他に学び、自らを高めることができる
社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、より良い社会の実現に繋がるような努力ができる

中２　創造（自分を高める、集団の中の自分を意識する）

より高い目標の達成を設定してその実現を目指し、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることができる
学級や学校の一員として、集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して積極的な活動ができる

中１　自律（自分に責任を持つ、他を思いやる）

望ましい生活習慣を身に付けると共に、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつことができる
思いやりの心を持って人と接すると共に、周囲の多くの人に支えられていることに感謝できる

小１・２　出会い（仲間づくり・集団づくり）

気持ちの良い挨拶、温かい言葉遣いで、友だちに明るく、優しく接することができる
友だちと仲良くし、助け合うことができる

小３・４　挑戦（自分の良さを増やす、広げる）

働くことのよさを知り、進んでみんなのために働くことができる
自分の意見や考えを相手に伝えると共に、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にできる

小５・６　充実（自分の良さを生かす、深める）

より高い目標を掲げ、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力してやり抜くことができる
集団の中での自分の役割を自覚し、集団生活の充実に努めることができる

学区内こども園、保育園、幼稚園

幼児教育との連携、小学校へのスムーズな接続

「ひとり立ち　支え合い」に関する「目標を明確にした取組１～６」を発達段階（学年）に応じて位置づける

２　学習

「学びに向かう力の育成」
①考えを深める授業の実践
＊相手を意識した伝え方、聴き方の工夫
＊安心して意見を伝え合える温かな学習集団づくり
②家庭学習の習慣化と充実
＊学習内容定着を目指す家庭学習の工夫
③英語授業におけるつながり

３　特別活動

視点３

「自分から進んで意欲的に動き、仲間と共に問題解決できる力の育成」
①行事等を通じて、児童会・生徒会の交流を図る
＊定期的に合同のあいさつ運動を実施
②部活動・合唱発表会の見学

５　道徳教育

「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成」
①重点項目の統一
＊自立を促し、他者と共に生きる力の基盤となる項目を重点とする
②振り返りの実施
＊ふり返りを確実に行い、子どもの姿を見とる

６　特別支援教育

【全校】「教育活動のﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ化」
①どの子どもにとっても生活・学習しやすい教育活動のユニバーサルデザイン化と合理的配慮への理解
②多様性を尊重しようとする子どもの育成
＊自分と異なる他者の考えに共感したり立場を尊重したりすることができる態度を育てる
【特別支援学級…知的】①将来の社会自立、職業自立に向けて必要な力の育成
【特別支援学級…自・情】①学力の向上

軸となる取組はＡＳＡだよ

「自立」と「共生」の力を育む

１　生活　ＡＳＡ活動

Ａあいさつ…「と・よ・だのあいさつ」の実践
Ｓせいそう…「黙働＋時間いっぱい」の清掃
Ａあんぜん…　安心・安全な生活を考える活動

４　生活科・総合的な学習

視点４

「災害後もたくましく生きる力の育成」【しずおか学：防災】
災害時の避難方法・避難所生活で必要なことを考え、実践・体験する
【小学校】教科横断的に防災の視点で災害について学び、自分の命を守る力を身に付ける
【中学校】防災訓練・避難所生活等を体験的に学び、地域の防災に寄与する力を身に付ける

教職員の研修

「主体的・対話的で深い学びの実現」
①筋道を立てて思いや考えを伝える力を９年間で育成する
②小・中相互研修の充実を図る

視点２

保護者や地域の皆様との連携・協働

○ＰＴＡ事業（保護者）　○防災訓練（各自治会・静岡県立大学　等）
○健全育成大会、あいさつ標語募集、掲出等（青少年健全育成会）　○とよっぴ一倶楽部活動（地域有志・保護者）
○各種体験学習（学区内事業所・公共施設　等）　○交流学習（学区内こども園、保育園、幼稚園、特別支援学校、児童館　等）
○コミュニティ・スクールの実践
○学校評価（学校運営協議会）